

# 令和元年度事業報告書

## 〔公益目的事業〕

### I 国際理解の推進

#### 1 施設の運営及び情報収集提供機能の拡充

##### (1) 国際交流プラザの運営

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供を行った。

##### (2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

###### ア ライブラリーの整備

海外渡航や留学情報、アジア・太平洋諸国をはじめとする世界各国の最新事情及び語学学習や異文化理解、交流の基礎となる鹿児島県の理解に役立つ図書等の収集・充実を図り、閲覧に供するとともに、海外の新聞や雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

図 書	2, 1 3 4 冊
ビデオ・DVD	1 8 9 巻
外国語新聞	4 紙
外国語雑誌	4 紙

###### イ 情報提供サービスの推進

県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め、国際理解の増進を図った。

また、若者等向けに「ワーキングホリデーセミナー」を開催し、情報の提供と理解を図った。

開 催 日	令和元年 8 月 4 日 (日)
場 所	かごしま県民交流センター
参加人数	2 6 名

###### ウ 相談・支援体制の充実 (外国人相談事業)

在住外国人等からの相談などに多言語で応じる「外国人総合相談窓口」を令和元年 10 月開設し、専任の相談員 2 名を配置して、在留資格や就労等に関する各種相談に対応した。併せて、県民の留学、国際交流に関する相談への対応や情報提供等を行った。

##### (3) インターネットによる情報提供機能の充実

当協会のホームページを活用し、県民及び在住外国人にインターネットにより多種多様な情報を提供した。

#### 2 広報出版活動の充実

##### (1) 日本語情報誌「DANRYU」の発行

県内の国際交流活動情報を盛り込んだ県民向けの日本語情報誌を発行した。

発行回数	： 年 1 回	発行部数	： 2, 3 0 0 部
------	---------	------	--------------

(2) 英文情報誌「South Wing」の発行

県内在住の外国人を対象に鹿児島県の日常的に必要な情報を提供するため英文情報誌を発行した。

発行回数：年1回	発行部数：800部
----------	-----------

(3) 「国際交流ひろば」の発行

当協会及び県内国際交流・協力団体等の実施するイベント情報等の情報紙を発行した。

発行回数：毎月1回	発行部数：600部
-----------	-----------

### 3 国際理解事業の推進

(1) 外国語・文化講座等の開催

① 「県国際交流員による文化講座」等の開催

県国際交流員による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

また、県内各地に出向き、多くの県民が異文化体験できる機会の提供に努めた。

実施回数：4回	参加者：延べ116名
---------	------------

② 「在住外国人による公募型国際理解講座」の開催

在住外国人が実施する国際理解講座を公募し、これらの外国人による講座の開催を支援することを通して、在住外国人自らが本県における多文化共生の地域づくりに積極的に参画する機運を醸成した。

実施回数：2回	参加者：延べ76名
---------	-----------

③ 「児童・生徒向け国際理解講座」の開催

ア 「国際理解ミニ講座」の開催

社会科見学等で国際交流プラザを訪れる小中学生を対象に、協会職員による「世界の中のかごしま」をテーマとした講話や、国際交流員の出身国の文化紹介等を行う「来て、見て、知って！ 国際理解ミニ講座」を開催し、児童・生徒の海外への関心を高め、異文化理解を促進した。

実施回数：3回	参加者：8名
---------	--------

イ 「英語絵本のよみかたり講座」の開催

幼児から小学校低学年までの児童とその保護者を対象に、県国際交流員による「英語絵本のよみかたり」講座を開催し、幼少期から英語に触れる機会を提供するとともに、子どもたちの英語への関心を高めた。

実施回数：7回	参加者：延べ167名（親子63組）
---------	-------------------

④ 「一般向け国際理解講座」の開催

市町の国際交流協会、地域の自治会など国際交流に関心のある一般の方々を対象に、協会職員や県国際交流員が、当県の国際交流の現状等について説明を行う

「鹿児島と世界を考える」国際理解講座を開催し、地域レベルでの国際交流に関する理解の促進を図った。

実施回数：6回	参加者：91名
---------	---------

⑤ ランチタイムトーク（毎週1回）

ア ランチタイム・イングリッシュ・クラブ

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

開催日：毎週金曜日	
-----------	--

実施回数：26回	参加者：延べ497名
----------	------------

イ 中国語ランチタイムトーク

中国語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「中国語ランチタイムトーク」を開催した。

開催日：	毎週火曜日		
実施回数：	21回	参加者：	延べ227名

ウ 韓国語ランチタイムトーク

韓国語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「韓国語ランチタイムトーク」を開催した。

開催日：	毎週水曜日		
実施回数：	34回	参加者：	延べ249名

(2) 国際理解プログラム事業の実施

「協力隊OBと留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、青年海外協力隊のOB/OGや留学生等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会で実施した。

派遣学校	36校
派遣人数	延べ49名
参加者	2,649名

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解、国際交流、国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して、民族衣装や国旗、地図等の貸出しを行うとともに、その整備・充実を図った。

民族衣装	11回（学校0，市町村3，各種団体等8）
国旗	9回（学校0，市町村3，各種団体等6）
地図	0回（学校0，市町村0，各種団体等0）

## II 国際交流活動の展開

### 1 海外との相互交流の推進

#### (1) 「韓国全羅北道文化探訪団派遣事業」の実施

本県と交流のある韓国全羅北道に霧島食育研究会の会員を派遣し、全羅北道全州地方の郷土料理をはじめ歴史・文化の探訪等を通して、一層の交流促進を図った。

なお、本事業は今回で終了し、「鹿児島・全羅北道文化交流事業」としてリニューアルされた。

派遣時期	令和元年10月29日(火)～11月2日(土)
派遣人数	8名(うち2名は協会職員)

#### (2) 「香港城市大学専上学院日本語研修生受入事業」の実施

本県と交流のある香港の香港城市大学専上学院の学生を受け入れ、日本語及び日本文化学習の機会を提供し、本県との交流促進を図った。

受入時期	令和元年7月9日(火)～28日(日)
受入人数	10名

#### (3) 留学関係情報の提供及び相談

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情、ワーキングホリデー等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行った。

相談件数	12件	※留学、ワーキングホリデーに関する相談
------	-----	---------------------

### 2 在住外国人との交流促進

#### (1) 国際交流活動の促進

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援による協力を行った。

後援件数	11件
------	-----

#### (2) 「地域国際交流促進事業」の実施

在住外国人に県内各地で開催される国際交流イベント等に関する情報を提供し、参加を働きかける取り組みを通し、県民と在住外国人との交流促進を図った。

開催日	場所	イベント名	内容
R元年7月24日(水) ～25日(木)	鹿児島市	MBC夏祭り	挨拶スタンプラリー、外国切手のしおり作り等
R元年12月8日(日)	日置市	まるごと伊集院 フェスティバル	挨拶スタンプラリー、外国切手のしおり作り等

### 3 国際交流組織等との連携・支援の強化

#### (1) 民間団体等の国際交流・協力活動への助成

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

件数	：	2件	助成額	：	314千円
----	---	----	-----	---	-------

## (2) 市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進

### ① 意見交換会の開催

国際交流等に関する共通の課題や問題を抱える市町村等の職員を対象とした意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。

開催日	令和元年8月30日(金)
場所	かごしま県民交流センター
参加市町村等	13市町村 5団体

### ② 「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」の拡充

国際交流団体等のネットワークの一助とするため「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」の掲載情報を随時更新するとともに、対象団体等の把握に努めた。

## (3) 全国組織等との連携

### ① 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

### ② 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者会議に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

## 4 国際交流ボランティア制度の拡充

各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに、登録者の充実した活動ができるよう支援した。また、協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供するとともに、広報等に努めた。

登録者の状況	語学ボランティア登録	55名
	ホストファミリーボランティア登録	31家庭
活動の状況	語学ボランティア活用	0件(0名)
	ホストファミリーボランティア活用	7件(15家庭)

## 5 旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり

県の委託を受けて、かごしま県民交流センター内に設置されているパスポート窓口及び北薩地域振興局において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。また、県民サービスの一環として、旅券用写真撮影・販売業務等を行った。

項目	内容	備考
旅券交付件数	27,220件	県全体

### Ⅲ 多文化共生社会の推進

#### 1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

##### (1) 「在住外国人のための日本語・日本理解講座」の開催

県内の在住外国人を対象に、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等についての研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。

クラス	開催日	講座回数	受講者数（人数／回）
午前の部	毎週水曜日（5月～2月）	30回	21名
夜間の部	毎週木曜日（5月～2月）	30回	27名

計 15か国の方が受講

##### (2) 日本語サロン「おしゃべりひろば」の開催

日本語の日常会話が可能な在住外国人を対象に、フリートーキングを行い、在住外国人同士のネットワークの形成や日本語会話の上達が図られた。

実施回数	参加者数	出身国数
18回	延べ138名	15か国・地域

##### (3) 「多文化共生地域づくり事業」の実施

###### ① 災害時における外国人への支援研修

語学ボランティアや外国人支援に理解のある方を対象に、災害時に外国人を支援するための研修を実施した。

開催日	令和元年5月11日（土）
場 所	かごしま県民交流センター
参加人数	33名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「災害時における外国人への支援」</li> <li>・演習「サポーターとしてのファーストステップ」</li> </ul> ※県総合防災訓練への参加による実施研修は、訓練が大雨のため中止

###### ② 多文化共生社会づくり研修会

日頃から外国人と接する機会が多い行政機関や国際交流協会等の職員を対象に、多文化共生の基本的な考え方や地域づくりの先進事例について学ぶ研修会を実施した。

開催日	令和元年8月30日（金）
場 所	かごしま県民交流センター
参加人数	52名
内 容	・講演「多文化共生の地域づくりと『やさしい日本語』の活用」

###### ③ 地域における多文化共生ネットワーク構築事業

地方部における日本語教室の普及を図るため、始良市において、在住外国人のための日本語・日本理解講座及び日本語サポーターの養成を目的とした講座を開講した。

開催回数	6回（令和元年9月9日～12月8日）
参加者数	延べ 外国人：66名、日本人サポーター：66名

##### (4) 相談・支援体制の充実（外国人等相談事業）

在住外国人等からの相談などに多言語で応じる「外国人総合相談窓口」を元年10月に開設し、専任の相談員2名を配置して、在留資格や就労等に関する各種相談に対応した。

また、県民の留学、国際交流に関する相談への対応や情報提供等を行った。

相談件数	426件（うち外国人総合相談窓口での件数 254件）
------	----------------------------

## 2 異文化交流の推進

### (1) 「外国人による日本語スピーチコンテスト」の開催

国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深めるため、各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、本選には、340名の方に来場していただいた。

区分	開催日	出場者	出場者出身国・地域
予選	R2年1月11日(土)	33名 (10か国・地域)	中国, マレーシア, ネパール, フィリピン, 韓国, アメリカ, ベトナム, バングラディシュ, パキスタン, ミャンマー
本選	R2年1月25日(土)	10名 (5か国)	中国(5), フィリピン(2), アメリカ(1), ベトナム(1), ネパール(1)

### (2) 「県国際交流員による文化講座」等の開催(再掲)

### (3) 「在住外国人による公募型国際理解講座」の開催(再掲)

## IV 国際協力の推進

### 1 留学生への支援

#### (1) 研究活動費の助成

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費への助成を行った。

件数:	1件	助成額:	30千円
-----	----	------	------

#### (2) 留学生の交流活動への支援

東文子・外国人留生活動等支援事業会計を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成等を行った。

件数:	1件	助成額:	78千円
-----	----	------	------

#### (3) 留学生支援資金貸付制度の運営

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息での資金の貸付を行う事業で、令和元年度は申請がなかった。

件数:	0件	助成額:	0千円
-----	----	------	-----

#### (4) 留学生住宅確保支援事業

留学生が住居を賃借する際に、賃貸契約の連帯保証人として、当協会が機関保証することにより、留学生の円滑な住宅確保を図った。

※ 年度途中の引越により保証終了

保証件数:	1件(更新のみ)
-------	----------

#### (5) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、相互の連携を深めた。

開催日	平成31年4月24日(水)
開催場所	かごしま県民交流センター
参加者	8大学等 12名

## 2 国際協力に対する理解の促進

### 「青少年国際協力体験事業」の実施

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

派遣期間	令和元年7月21日（日）～7月28日（日）
派遣国	カンボジア王国
派遣人数	21名（うち生徒15名）

## 3 国際協力機関等との連携

### (1) 独立行政法人国際協力機構との連携

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

### (2) 在外県人会の支援

#### ① 郷土情報の提供

在外県人会並びに県出身者に対して、グラフかごしまや県政かわら版等を定期的に送付し、郷土情報の提供を行った。

#### ② 活動の支援

在外県人会が行う移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を支援するため、これらの業務を県人会に委託した。

委託先	ブラジル、アルゼンチン、ペルー、パラグアイ
-----	-----------------------

## 〔収益事業〕

県から委託を受けている旅券発給業務補助に付随して、旅券交付申請者の利便性を考慮し、次の事業を行った。

### 1 旅券発給に係る収入印紙・収入証紙の販売協力

### 2 旅券用写真の撮影・販売

※ 令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はないので作成しない。